

## 具体的手法の検証

### ■事前アンケートを配布

（目的）例会での学びを深め、各会員が考えている現状を知るために事前にアンケートを実施します。会員拡大活動の現状、青年会議所活動に対する姿勢や思い出をヒアリングすることで、グループワークへつなげ、例会への学びを深めます。

（検証）事前アンケートを実施したことにより、会員一人ひとりの会員拡大活動、青年会議所に対する思いを事前に確認することができ、その内容を趣旨説明や委員会発表内に反映した。その結果、会員それぞれの具体的な考えが共有でき、例会への学びが深まったと推測できる。

### ■趣旨説明

（目的）本例会を行う理由を理解してもらうために青年会議所活動に関して、主体性や意欲的に取り組むとはどういうことかを説明し、会員それぞれが今日に至るまでにどれだけの活動に取り組めたかを再確認していただきます。

その上で、取り組めていなかったことについてどうしてなのか、反対に取り組めたことについてよかったことは何かを落とし込み、さらに意欲が持てるようにするためには何が必要かを認識していただきます。

（検証）まずは事前アンケートの結果から具体的な取り組みを説明できたとともに、外部の情報を取り入れることで主体性や意欲的に取り組むことがどういう結果につながるのか説明することができた。そのうえで、四日市青年会議所でのクラブ活動の例を取り入れたことにより、青年会議所活動自体が実は会員拡大活動につながっていることを理解するきっかけを作れたと推測できる。

### ■グループワーク①

（目的）ここでは事前アンケートをもとに導入として会員それぞれの現状を認識してもらうことを目的としてグループワーク①を行います。

具体的には会員それぞれが会員拡大活動にどのような苦手意識や不得意とする理由を持っているか、思っていることをすべて出し合ってもらい、できていない理由を具体的且つ明確にさせていただきます。とくにできない理由こそ共有してないがしろにしないようグループワークを行います。

また、できていることも同時に出し合ってもらい、他メンバーのできていない理由などと照らし合わせていただきます。

なお、大きな模造紙にそれぞれが思っていることを書き出していただき、共通する事項を確認し、グループでの答えを考えていただきます。

それぞれのグループの結果はルームにて掲示いたします。

(検証) 事前アンケートと趣旨説明を通して、それぞれ苦手に思っている、不得意であると思っている内容とその理由をより明確にアウトプットすることができた。また、グループ内でその内容を共有することで、何故できていないのか、実は簡単なきっかけで行動に移すことができる、また得意な人に依頼することもできるなど、新たな視点を発見することができたと推測できる。

#### ■委員会発表

(目的) グループワーク①で記載された内容をさらに深掘りし、様々な実例を共有することで会員拡大活動の幅を広げ、マインドを変えていくようにいたします。

具体的には、事前アンケートの内容やグループワーク①の内容をもとに会員メンバーの苦手意識、得意不得意についての活動内容を発表します。苦手意識、不得意分野については回答例を準備し発表します。また、会員拡大活動における成功例、前向きな考え方についても事前アンケートで収集しますので、実際にやってみて成功した例などとリンクさせながら会員拡大活動について難しく考えているところを払拭していただきます。

(検証) 委員会発表では事前アンケートからの引用を基に、成功例を具体的に複数提示することで、会員一人ひとりがどこに当てはまり、何を得意にしているのかを明確にすることができた。また、会員会議所活動がどのように会員拡大活動につながっているのかを理解してもらえ一助になったと推測できる。

#### ■グループワーク②

(目的) グループワーク②では実際に自身の活動に落とし込むために、再度グループワークを行います。具体的にはグループワーク①の意見、委員会発表で感じたことをもとに、自身でできる拡大活動について意見交換をしていただき～これならできる！私の会員拡大活動！～を考えていただきます。会員それぞれが考えられる会員拡大活動を数多く出し合っていただき、活動方法を多く知ることによって苦手意識を払拭していただきます。こちらもグループワーク①と同様に書き出しを行い、共通する事項を確認していただきます。

掲示についても同様です。

(検証) 多くの実例や、具体的な内容を示したことにより、それぞれができる会員拡大活動をこれまでよりも明確にイメージすることができたと推測できる。また、グループワークとして

行うことで、他の会員がどのような想いで青年会議所活動に取り組んでいるのかを共有でき、活動に対する向き合い方や、会員拡大活動への意識の幅もより広げることができたと推測できる。

#### ■決意書作成

（目的）会員拡大活動に対しての意識が変わったタイミングで、この時の思いや考えを1年間会員拡大活動に注力し続けるために、目に見えて分かりやすい決意書の作成を行います。グループワーク②で考えていただいた会員拡大活動の方法について決意を考えていただき、会員メンバーは全員で寄せ書き用紙に決意文を書いていただきます。なお、この決意書はルームにて掲示し、常に見える場所に置くことで拡大の意識をもっていただきます。

（検証）決意書については、ここまでの例会の流れを汲んで、会員自身の想いを文字として残すことで、会員拡大活動への意識を強く持つことにつながったと推測できる。またこの決意書をルームに掲示し、**見直す**ことで常に会員拡大活動への意識を保つことへの補助になるとも考える。

#### ■委員会まとめ

（目的）本例会を行った理由を再度お伝えすることで、例会に対する学びを深めます。

- ① 決意書を見ながら例会の振り返り
- ② 主体性や意欲的な活動をするためには
- ③ さらに良い青年会議所にするための拡大と資質向上

（検証）会員拡大活動とは、一人ひとりが、候補者を一人ひとり連れてくる、全員での会員拡大活動が重要であることを伝え、そのためには青年会議所活動への向き合い方が重要であるというまとめをすることができた。

普段の生活にも周囲には多くの候補者になりえる方もあるので、常に意識をもって全員で会員拡大活動に邁進することを伝え、会員拡大活動への意欲を高めることができたと推測できる。